

平成27年度大分県の学力定着状況調査ならびに

平成27年度全国学力学習状況調査の結果と分析について

平成27年10月8日

由布市教育委員会

本年度、4月13日に実施された「平成27年度大分県の学力定着状況調査」ならびに、4月21日に実施された「平成27年度全国学力学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。

1 学力調査結果の分析

(1) 小学校における学力の状況

「平成27年度大分県の学力定着状況調査」〈図1参照〉

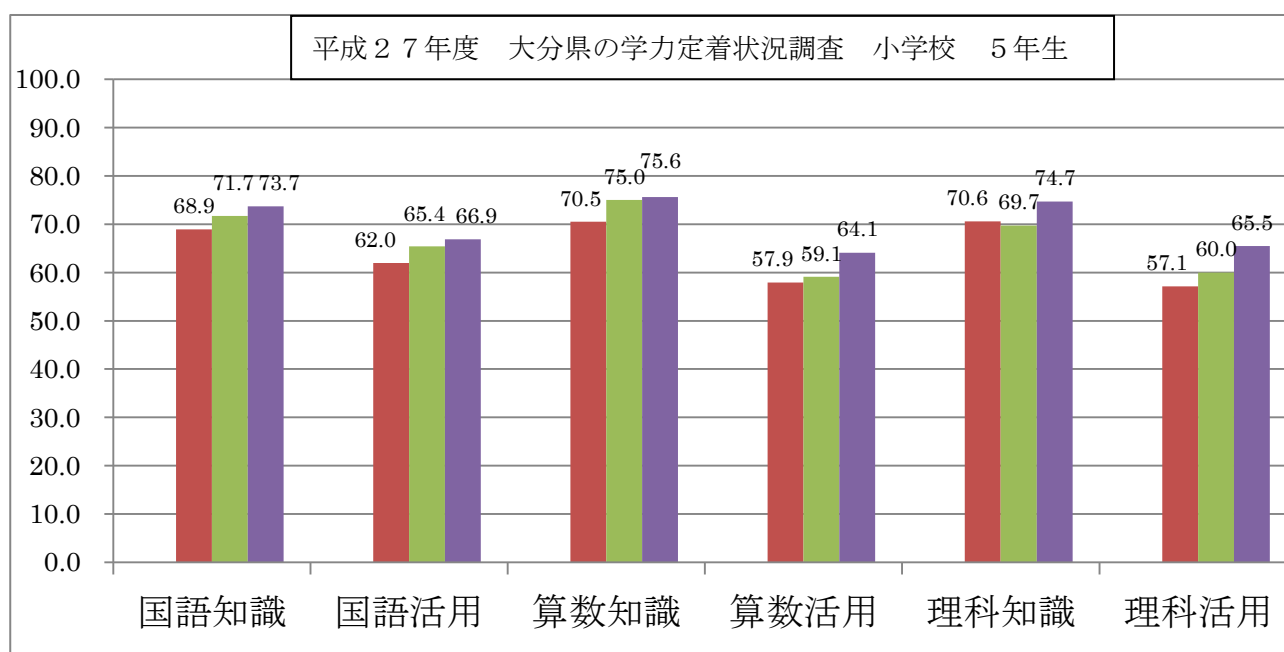
小学校では、第5学年で、国語・算数・理科の調査が実施されました。

○5年生では、理科知識を除く全ての教科で「目標値^{※注1}」を超えました。

○県の平均値にはもう少しというところなので、引き続き取組を充実させることが必要になります。

※注1 学習指導要領に示された内容について、正答できることを期待した児童生徒の割合。
多くのデータを基に、テスト作成業者が算出したもの。

〈図1〉 教科別正答率「小学校5年」 ※棒グラフは左から目標値、由布市、大分県



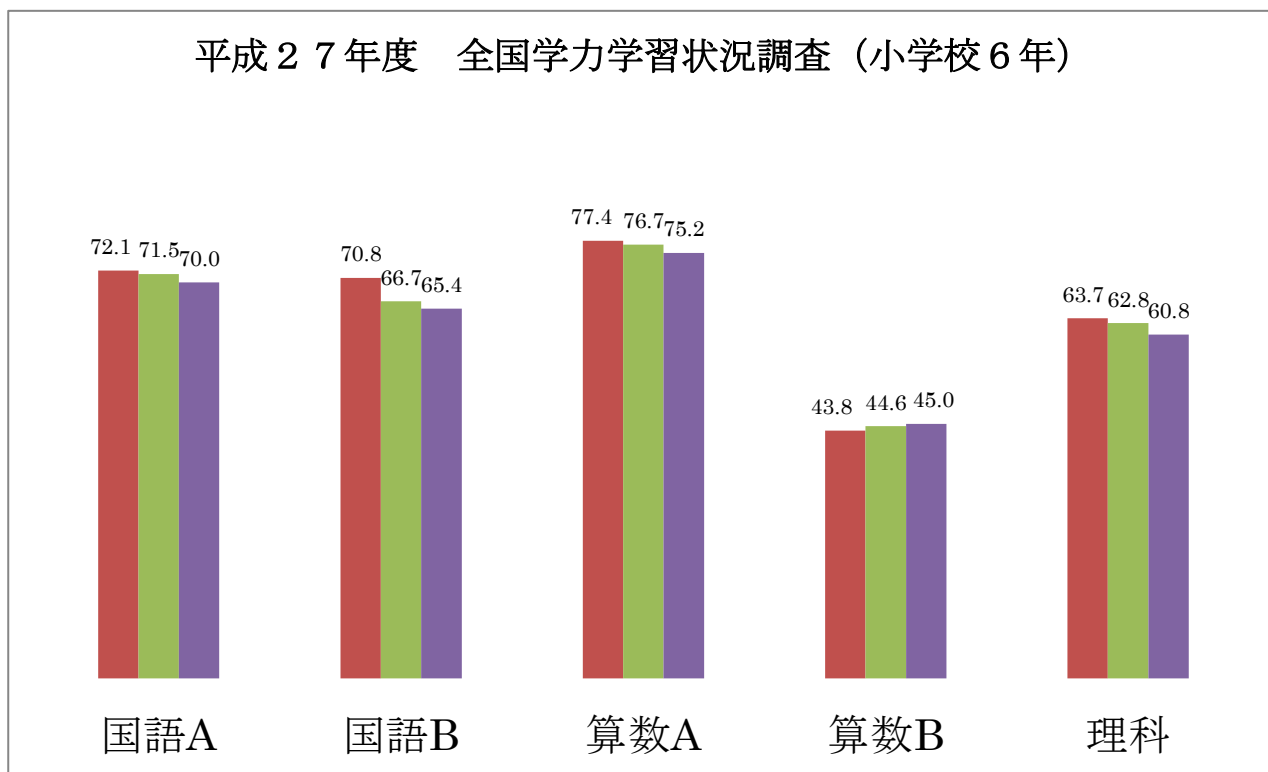
「平成27年度全国学力学習状況調査」〈図2参照〉

小学校では、第6学年で、国語・算数・理科の調査が実施されました。

○6年生では、算数Bを除く全ての教科で県や国の正答率を超えました。

○昨年度の県調査からの推移を見ると、改善の成果が見られました。

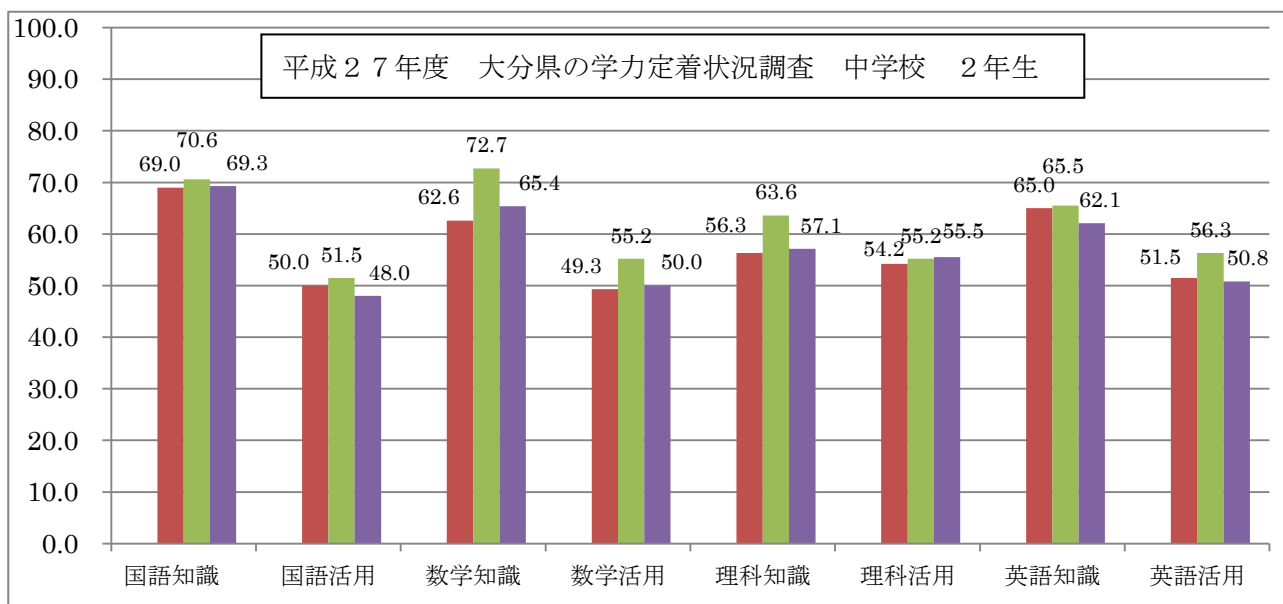
<図2> 教科別正答率「小学校6年」 ※棒グラフは左から由布市、県、全国



(2) 中学校における学力の状況

- 「平成27年度大分県の学力定着状況調査」<図3参照>
 中学校では、第2学年で国語・数学・理科・英語の調査が実施されました。
 ○2年生では、全ての教科で「目標値^{※注1}」を超えました。
 ○特に数学においては、知識も活用も昨年度に引き続きすばらしい結果をあげることができました。

<図3> 教科別正答率「中学校2年」 ※棒グラフは左から目標値、由布市、大分県



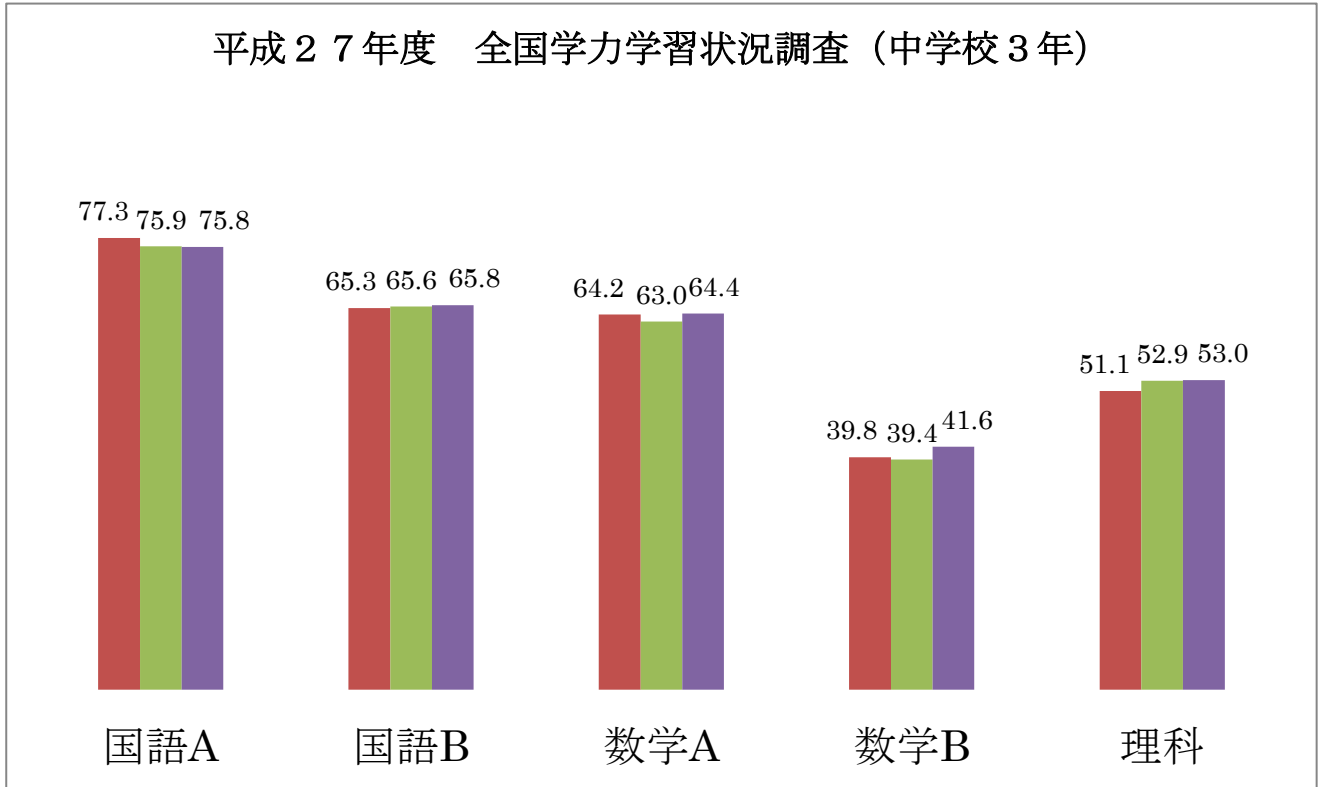
「平成27年度全国学力学習状況調査」＜図4参照＞

第3学年で、国語・数学・理科の調査が実施されました。

○国語Aにおいて、全国の値を上回りましたが、他の教科は若干全国の値を下回りました。

○おおむね、県や国の正答率との差は見られませんでした。

＜図4＞ 教科別正答率「中学校3年」 ※棒グラフは左から由布市、県、全国



(3) 今後の課題

* 県調査および国調査から考えられる由布市共通の取組

- 県調査数学における達成率の高さ = 子どもへの家庭学習・補充学習の丁寧さ
- 県調査小学校における改善傾向 = 授業公開・教材検討会等の授業改善の成果
- 学年による結果の差の大きさ = 学校全体で統一した取組の必要性

由布市では、1学期に学習規律の確立、2学期に授業改善、3学期に補充学習の取組を重点化して行ってきました。今後もその大きな方針は変えずにやっていくつもりです。また、補充学習の取組（家庭学習を含む）について、学校ごとや校種間で差が見られておりましたので、そこをもう一度見直した取組が実を結んできましたので、そこは継続していきます。

授業改善については、県から示されている生徒指導の3機能を生かした授業づくりをベースに、新大分スタンダードの確立に向け学力向上支援教員や習熟度別授業推進教員、また、指導法工夫改善教員および指導教諭といったが学力向上に特化した教員を核として、組織的に取り組めるようにしていきます。

今回は大変いい結果が見られましたが、今後もこれまでの取組を継続し、年度によって差が出ないようにしていく所存です。

2 意識調査結果の分析

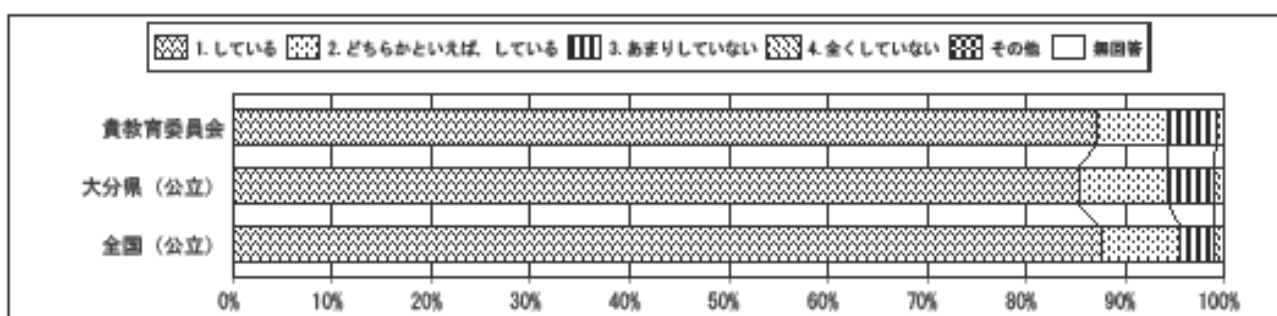
(1) 全国学力学習状況調査の児童・生徒質問紙からわかる状況

全国学力学習状況調査では、児童・生徒に様々な質問をしています。その様子からも学習習慣や生活習慣が推測されます。注目すべき点を紹介することで、保護者や地域の皆様にも知っていただき、よりよい学習習慣や生活習慣の形成に役立てたいと考えています。

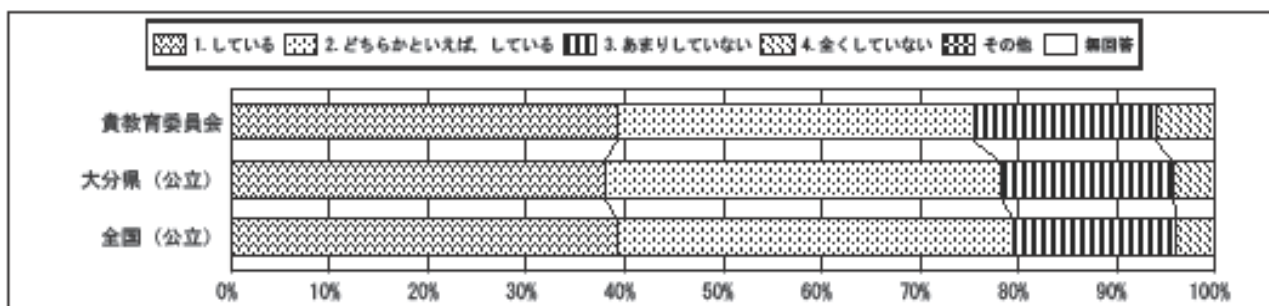
「小学校における学習習慣・生活習慣の状況」 小学校6年

① 基本的な生活習慣について

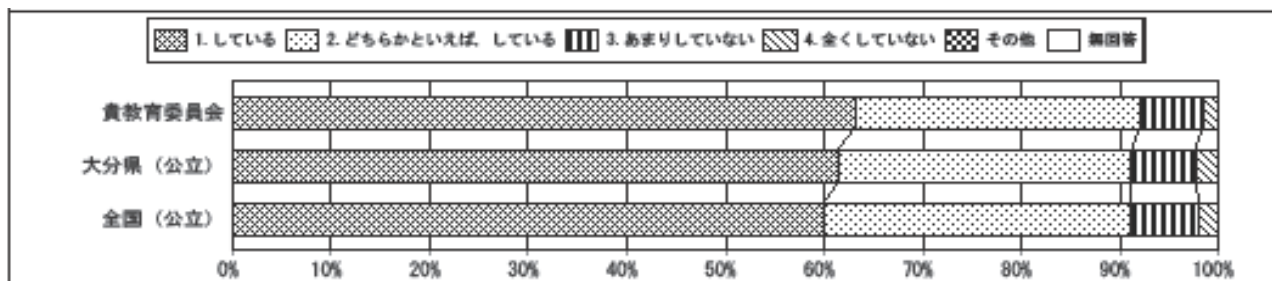
Q1 朝食を毎日食べていますか



Q2 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



Q3 毎日同じくらいの時刻に起きていますか

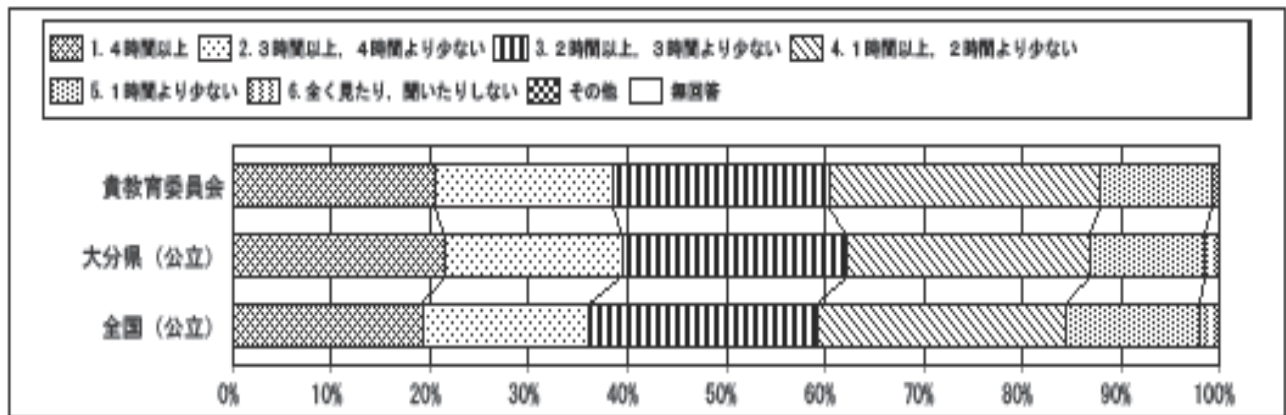


* 基本的な生活習慣は県や全国とあまり差がないようです。

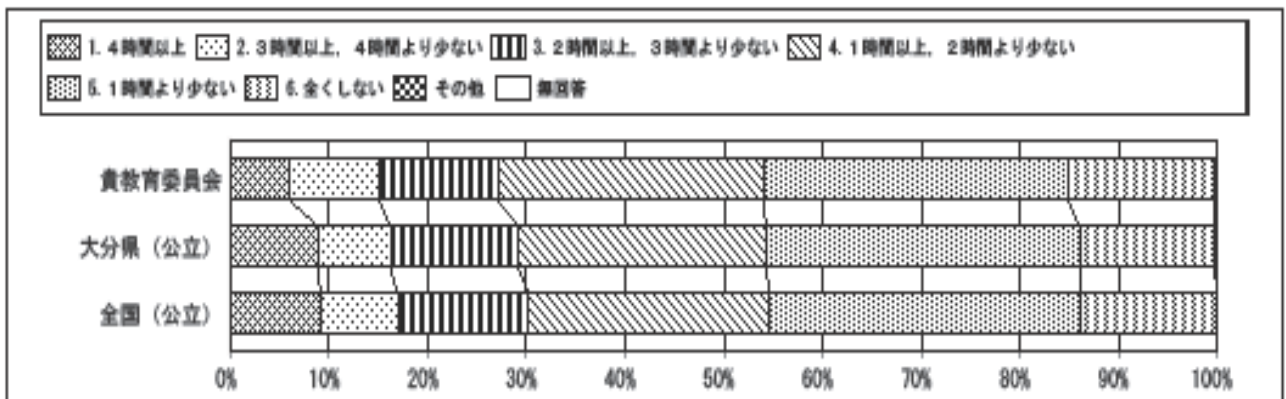
これは、昨年度の結果もほぼ同じでした。

* 若干気になるのが、就寝時刻をきちんと決めていないグループが、県や全国に比べ5ポイント近く多いことです。このことは昨年から改善されていません。

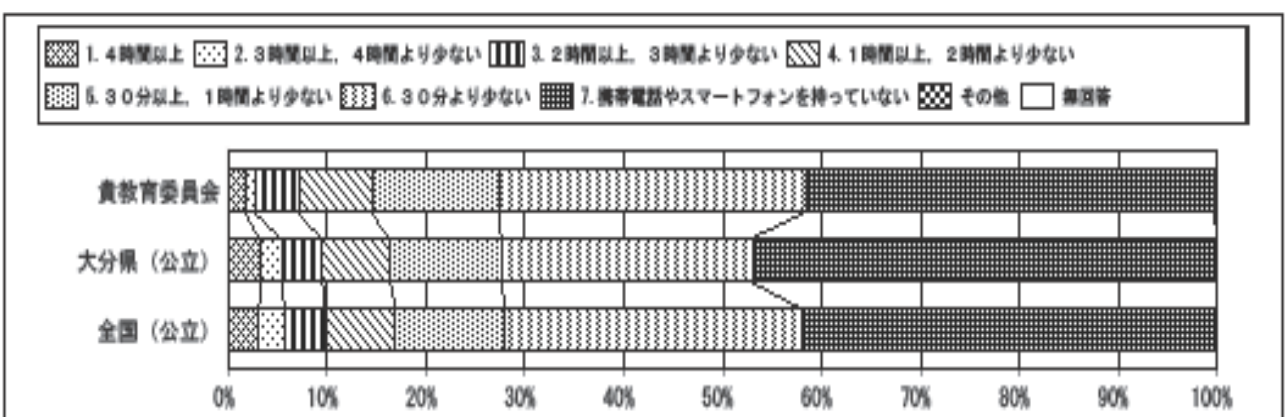
Q 4 普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、テレビやDVDを見たり、聞いたりしますか。（テレビゲームをする時間は除く）



Q 5 普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、テレビゲームをしますか（コンピューター、携帯・スマートフォンを含む）



Q 6 普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、携帯やスマートフォンで、通話、メール、インターネットをしますか（ゲーム時間を除く）



* これも県や全国とあまり差がないようです。

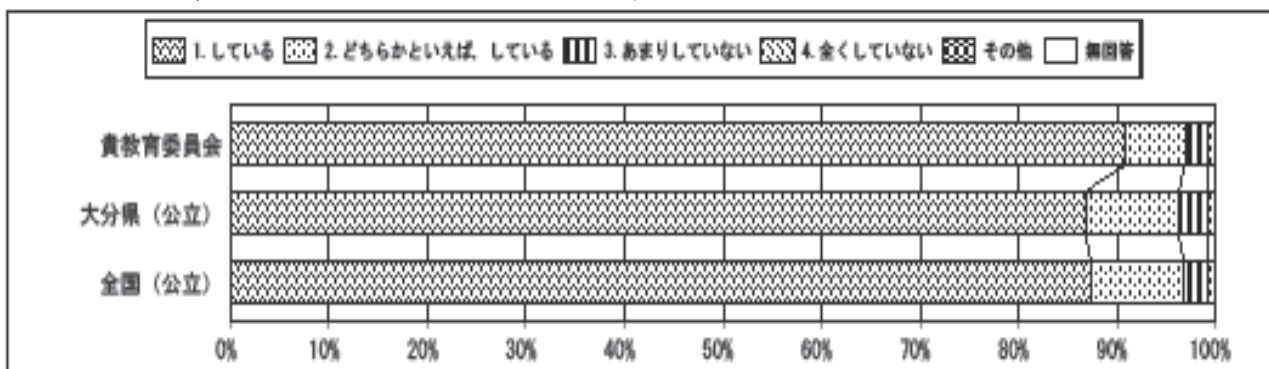
TVを見る時間については、県や全国よりも多い傾向にあります。

* 気になるのが、ゲームや携帯等に、2時間以上携わっている子どもが結構いるということです。全国的な傾向とはいえ、改善する必要がありそうです。

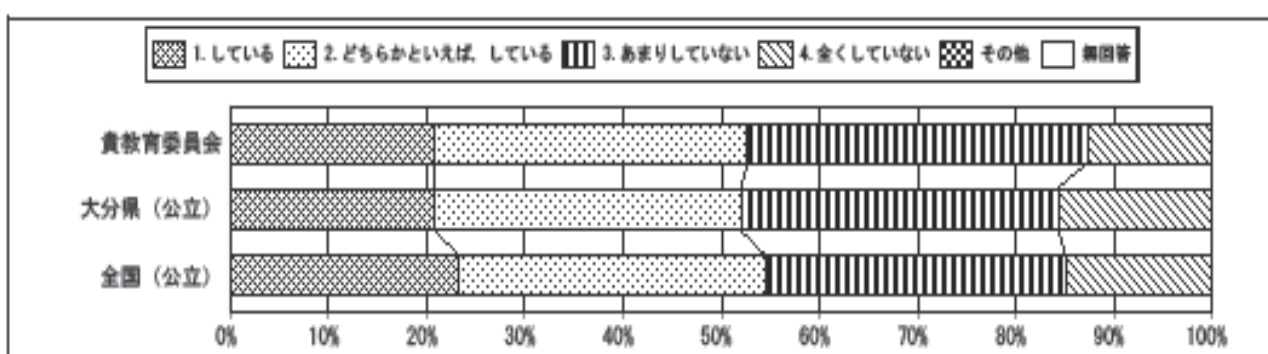
* 携帯やスマートフォンを持っていない子どもは全国並みの40%程でした。

② 学習習慣について

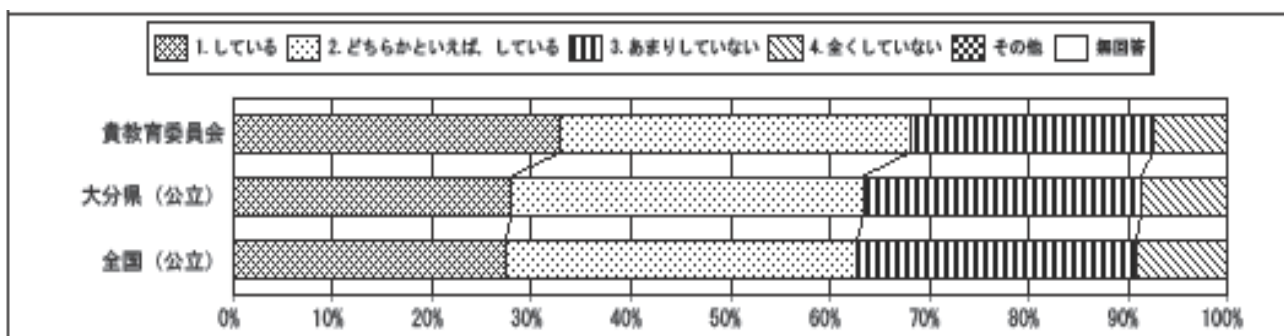
Q 7 家で学校の宿題をしていますか。



Q 8 家で学校の復習をしていますか



Q 9 家で計画を立てて勉強をしていますか



*昨年度調査では、県や全国に比べて家庭学習をやっている割合が低かったですが今年度は5%程度高い結果になりました。

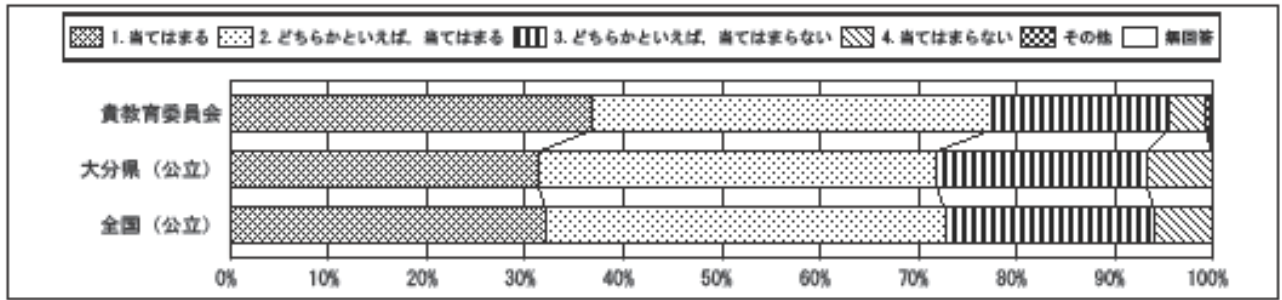
*授業の復習については県や全国とあまり変わらない結果になりました。

このことは、昨年度までの課題が少しずつ改善されたといえます。復習を行うことで、学習の定着が図れますので、今後も授業の復習をしていくことに力を入れていきます。

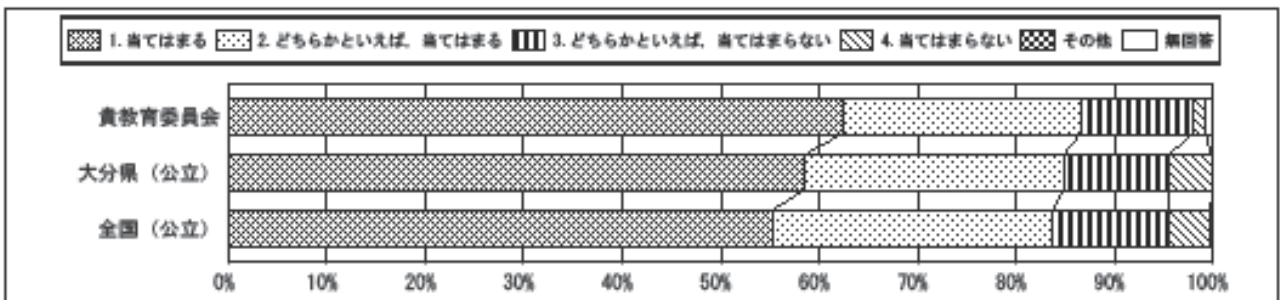
*家での過ごししかた（家庭学習も含め）を子どもが自立してどのように行っていく力をつけていくのかは、学校と家庭が協力して行う必要があります。

③ 授業改善について

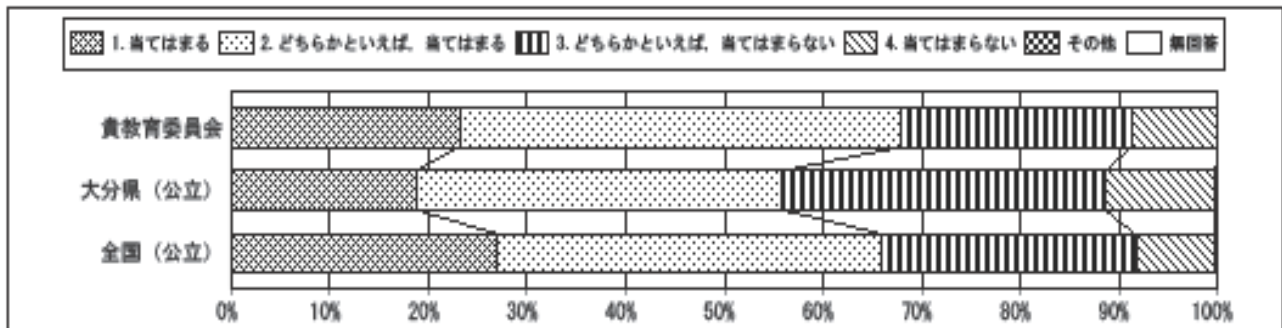
Q10 国語の授業で自分の考えを書く時、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。



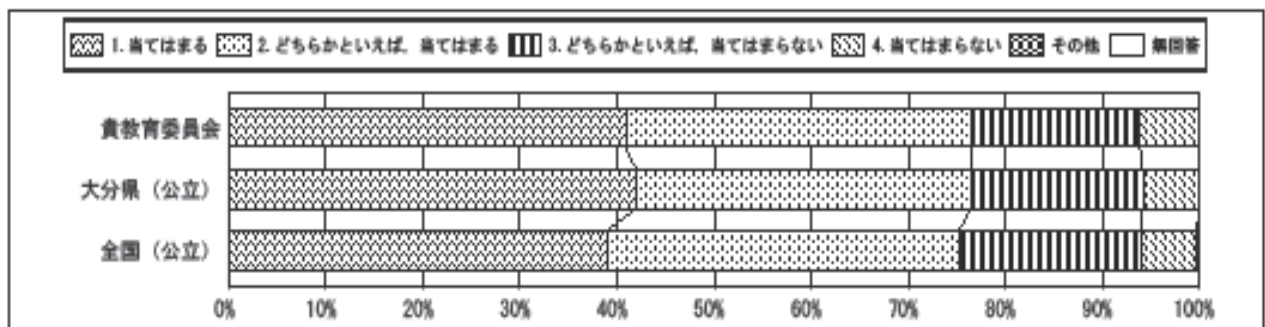
Q11 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。



Q12 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



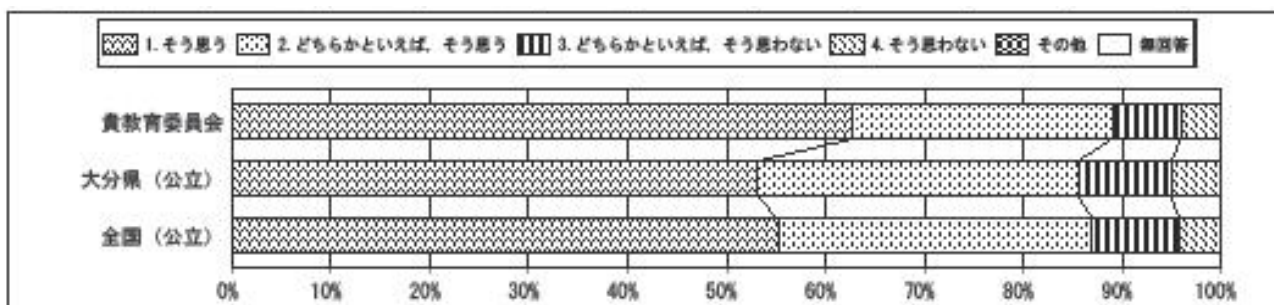
Q13 5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



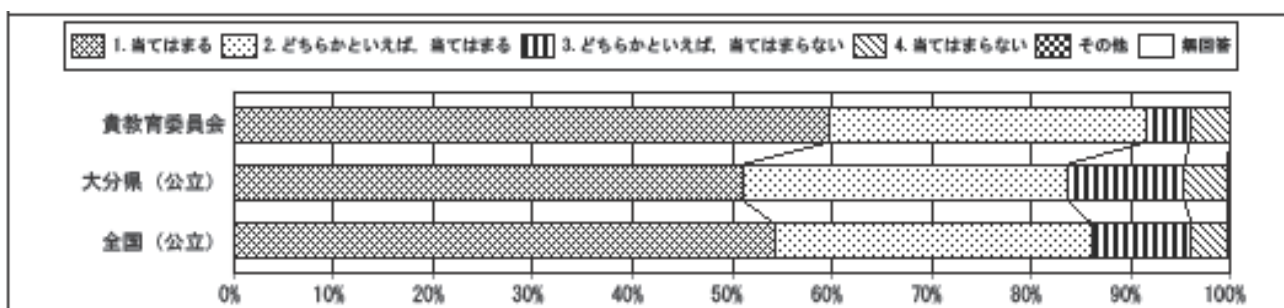
*③の授業改善に関する設問は、昨年度に比べ大幅に改善されました。特に国語・算数の考えを書くところは県や全国を上回りました。今回の学力アップに関係がありそうです。

④ その他の項目について

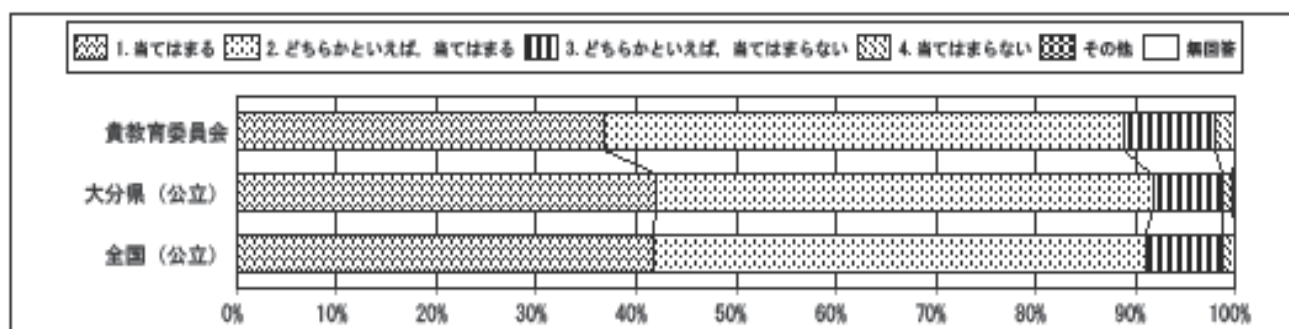
Q14 学校に行くのは楽しいと思いますか。



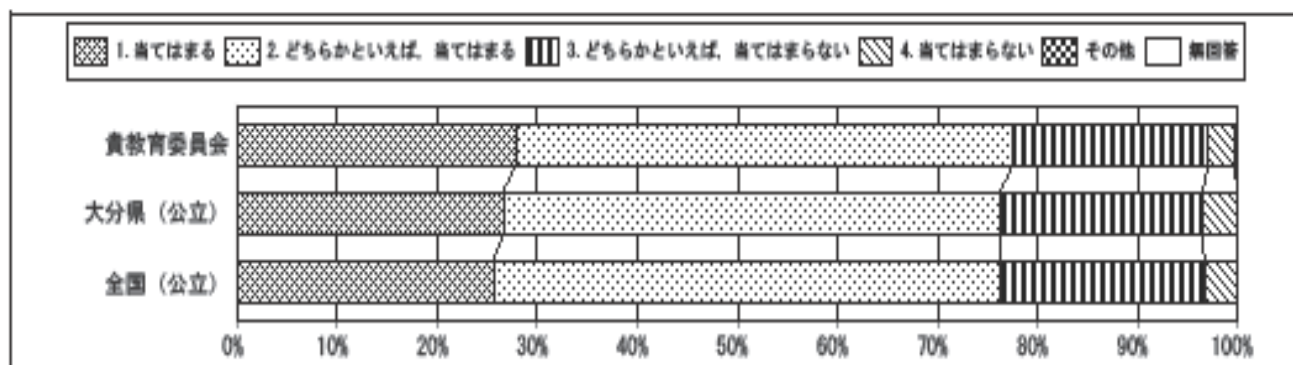
Q15 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。



Q16 学校のきまりを守っていますか



Q17 難しいことでも、失敗をおそれずに挑戦していますか



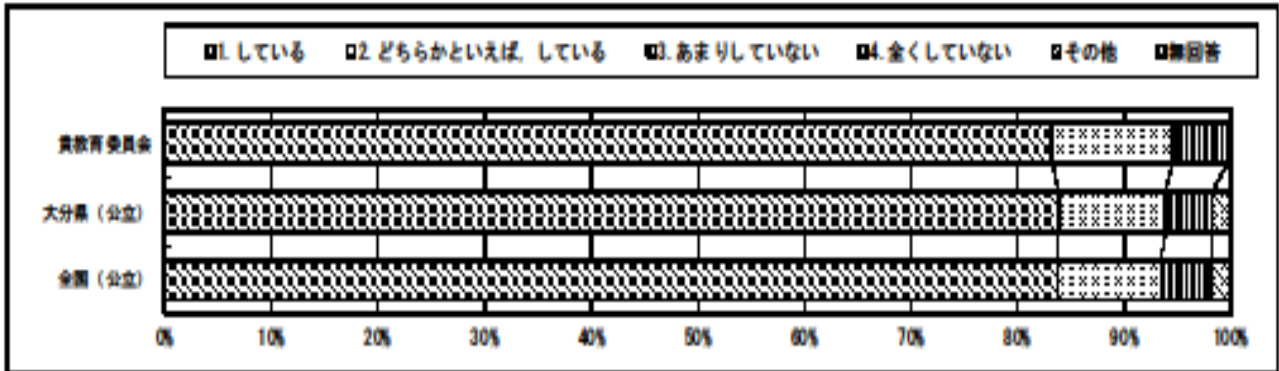
*難しいことに挑戦すること。みんなで何かをやり遂げること。学校を楽しんでいること。このことは全て相関関係があると考えます。これらの項目も、昨年度よりすべて改善されていました。やや、きまりを守ることのみ改善が必要です。

*今後とも、学校生活のみならず、子どもたちを取り巻く環境全ての改善に取り組んでいくことが大切と考えます。

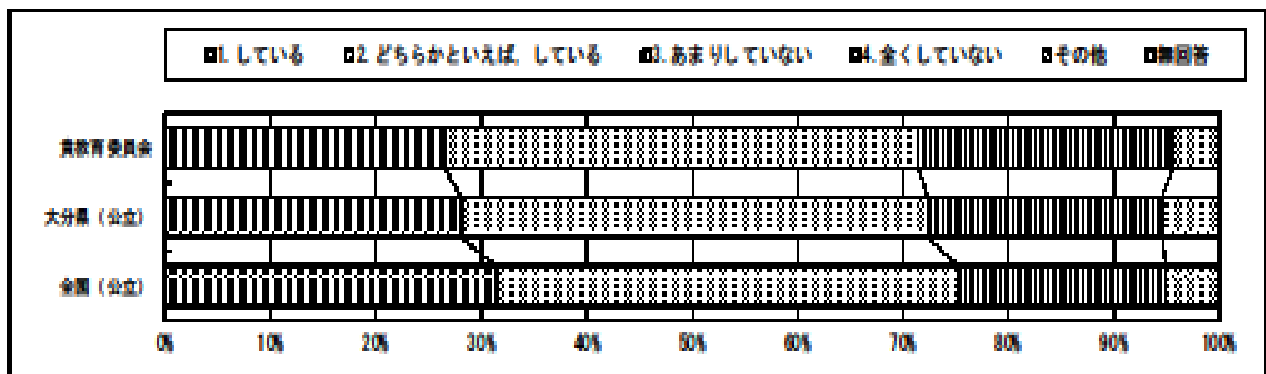
「中学校における学習習慣・生活習慣の状況」 中学校3年

①基本的な生活習慣について

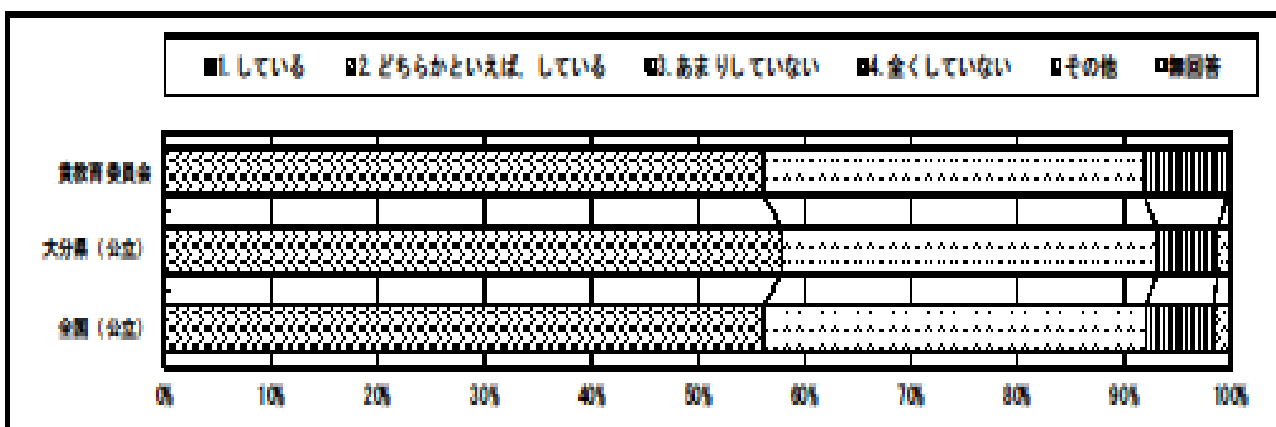
Q 1 朝食を毎日食べていますか



Q 2 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



Q 3 毎日同じくらいの時刻に起きていますか

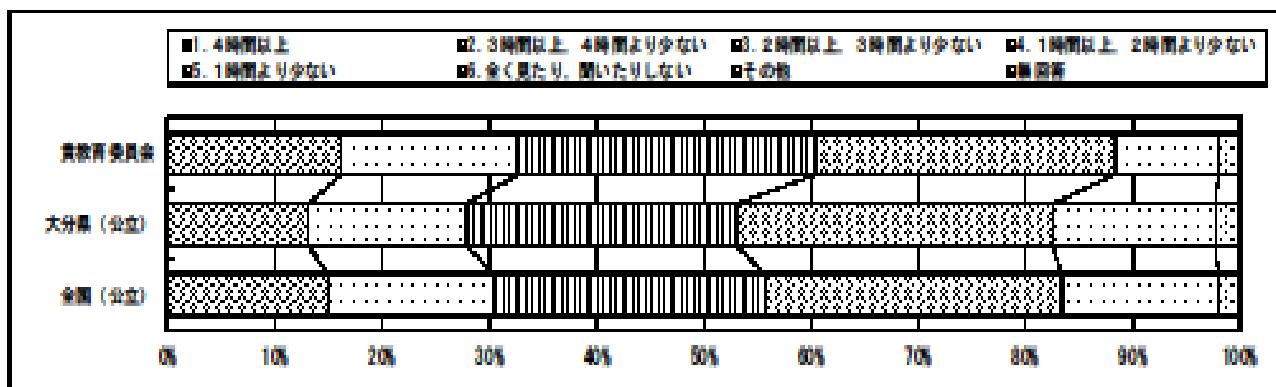


* 基本的な生活習慣は県や全国とあまり差がないようです。

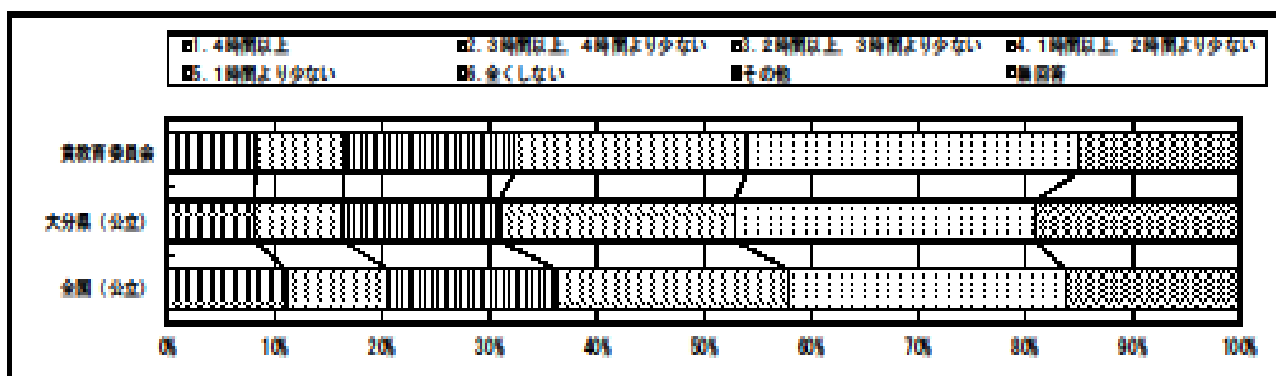
これは、昨年度の結果もほぼ同じでした。

* どちらかという、県や全国に比べ基本的な生活習慣はついているようです。

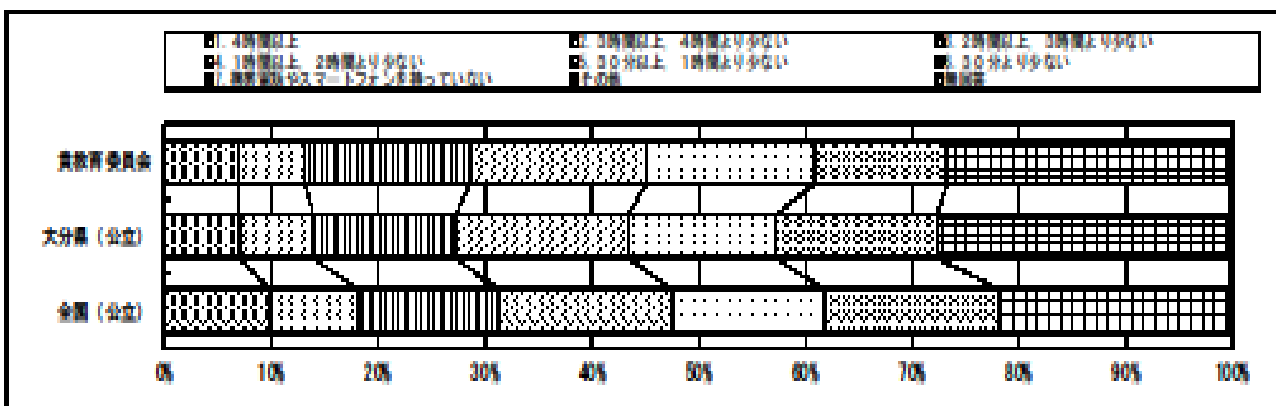
Q4 普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、テレビやDVDを見たり、聞いたりしますか。（テレビゲームをする時間は除く）



Q5 普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、テレビゲームをしますか（コンピューター、携帯・スマートフォンを含む）



Q6 普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、携帯やスマートフォンで、通話、メール、インターネットをしますか（ゲーム時間を除く）



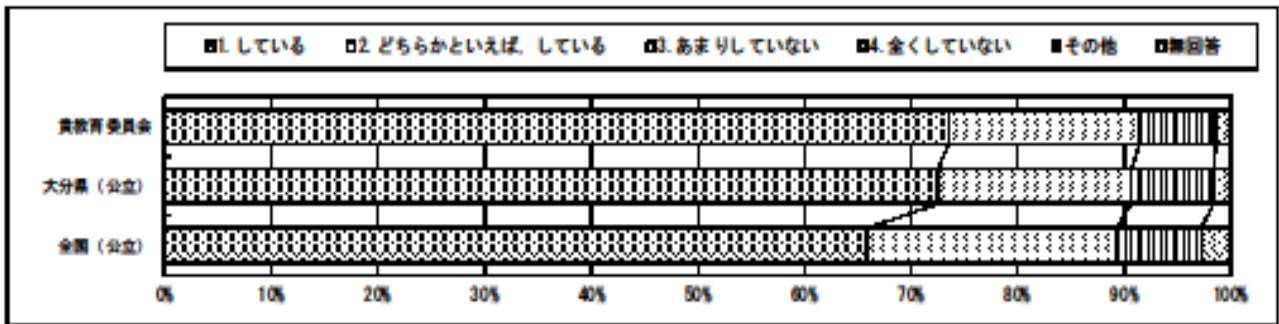
*これも県や全国とあまり差がないようです。

TVを見る時間については、2時間以上視聴する子どもが県や全国よりも多い傾向にあります。

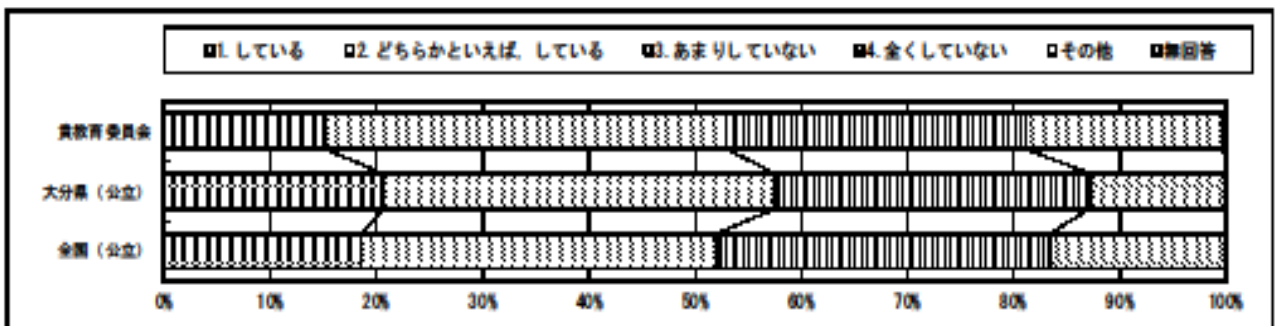
*気になるのが、ゲームや携帯等に、2時間以上携わっている子どもが結構いるということです。全国的な傾向とはいえ、改善する必要がありそうです。特に4時間以上関わっている子が、10%（1割）います。生活が崩れていることが予想されます。このことは昨年とあまり変わりません。

② 学習習慣について

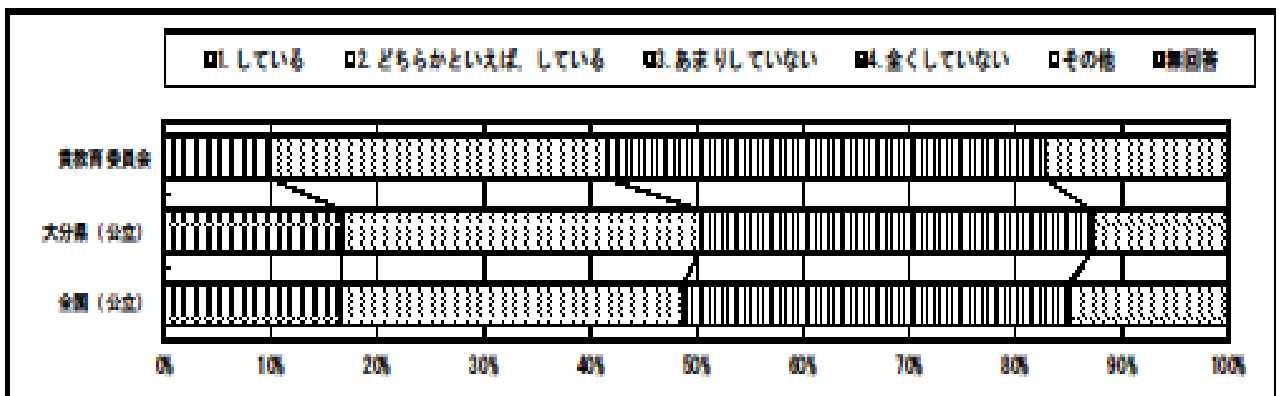
Q 7 家で学校の宿題をしていますか。



Q 8 家で学校の復習をしていますか



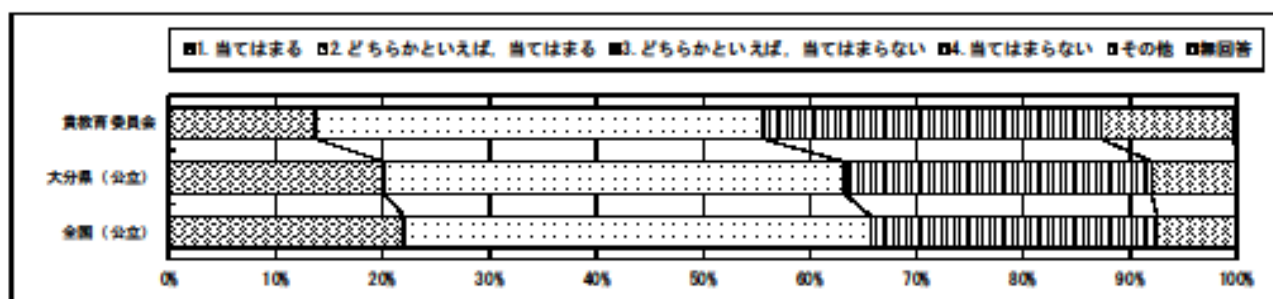
Q 9 家で計画を立てて勉強をしていますか



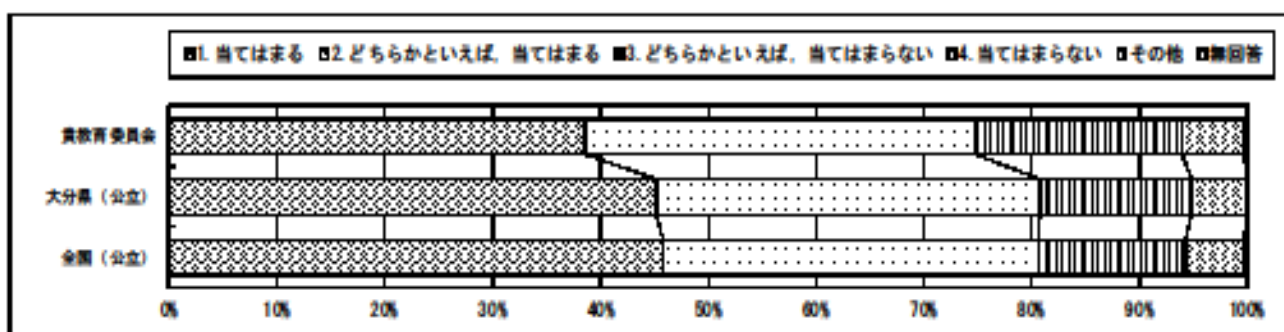
*このことは、昨年度より相対的にポイントが下がっています。特に自分で計画して学習するという面が必要と考えられます。

③ 授業改善について

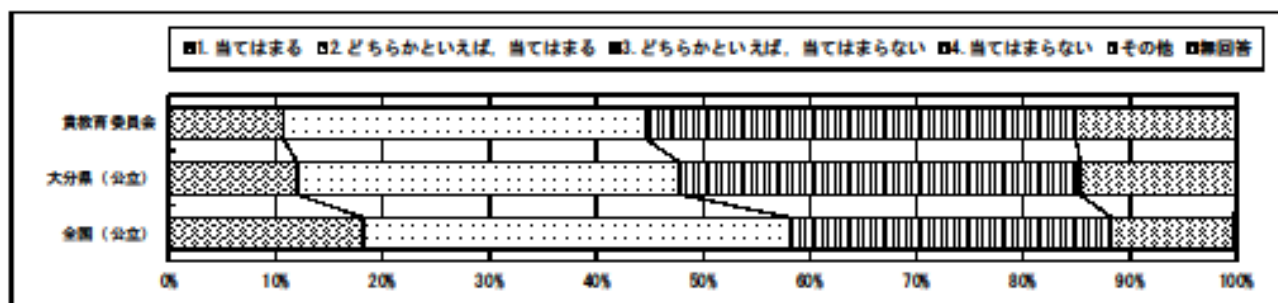
Q 1 0 国語の授業で自分の考えを書く時、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。



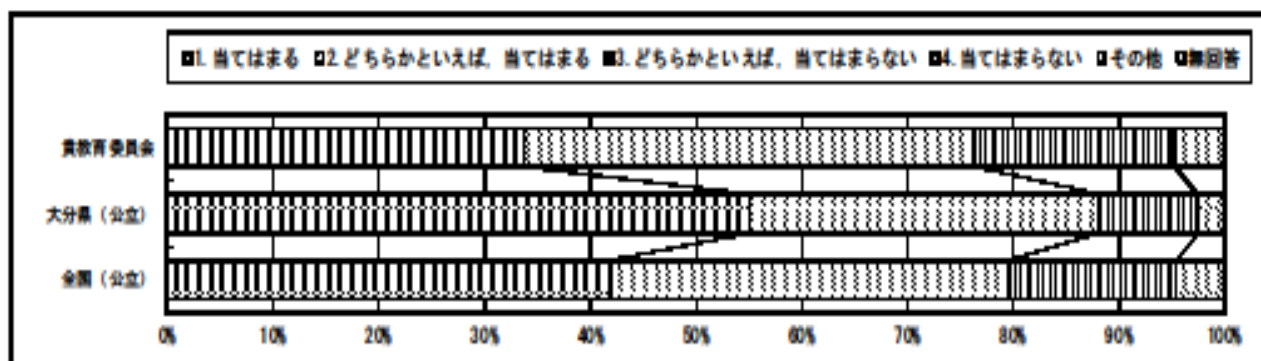
Q 1 1 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。



Q 1 2 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



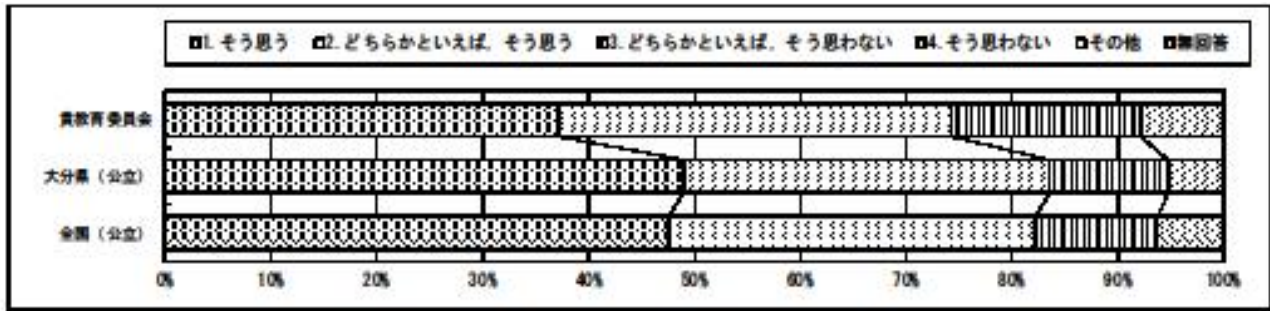
Q 1 3 授業のはじめに目標 (めあて・ねらい) が示されていたと思いますか。



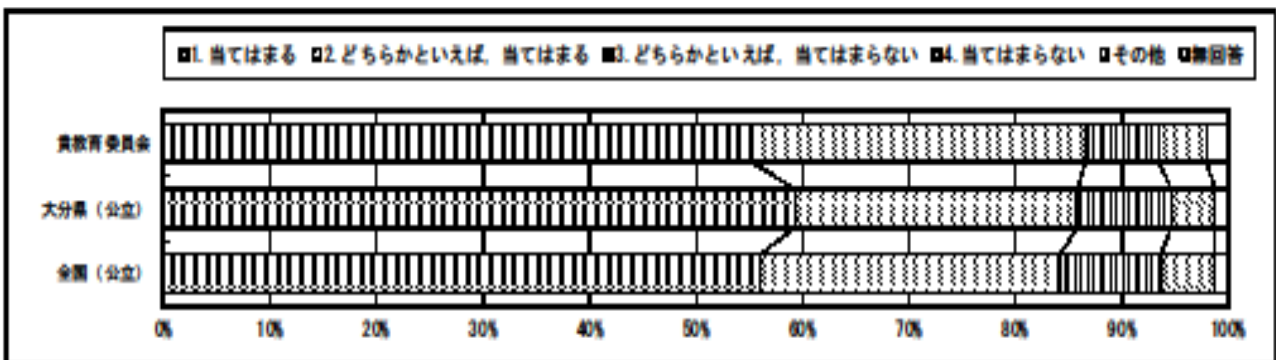
*特に授業の目標を子どもと共有すること、情報を活用する授業に取り組むことについては、昨年からあまり改善されていません。授業自体の改善が必要です。

④ その他の項目について

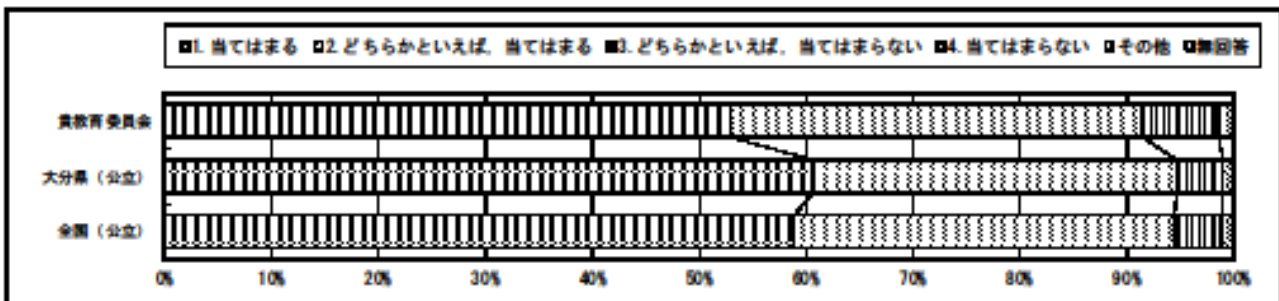
Q 1 4 学校に行くのは楽しいと思いますか。



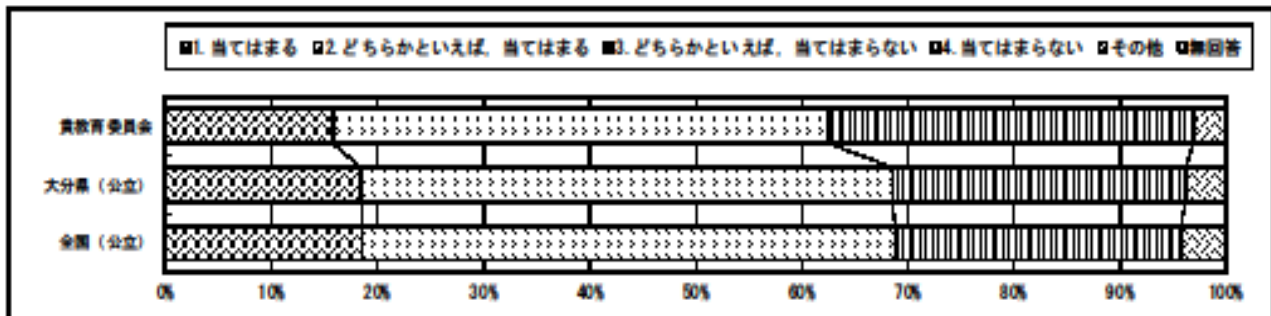
Q 1 5 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。



Q 1 6 学校のきまりを守っていますか



Q 1 7 難しいことでも、失敗をおそれずに挑戦していますか



*この部分は、昨年度より相対的に低くなっていました。
学校生活が学習だけでなく、生活面でも充実することが必要ですので、
由布市の取組の一つに加えていきます。

3 今後の「学力向上」に向けて

(1) 由布市の取組の重点に加え、家庭との連携を図ること。

学校を中心とした取組は、何年間かはあまり変えるつもりはありません。それというのも、市の立てた方針がまだ十分に位置付いているとは言えないからです。ただ、少しずつ成果はみられてきました。今後も学期ごとの重点化を図りながら、取組の充実に向けて精一杯努力を続けます。

しかしながら、昨年同様家庭との連携も一層密にしなければならない状況が出てきました。一つは、TV等の視聴時間、ゲームの時間、インターネットやメール（ライン）の時間です。これについては、一部の子どもたちが、かなりの時間を費やしており、学習への意欲はもとより、生活の乱れにつながっている実態があります。

このことは、家庭との連携を図りながら組織的に対応していく予定です。

(2) PDCAサイクルを充実させること。

分析した結果を、改善に生かさなければ意味はありません。今年度も学校ごとに調査結果を分析していますが、その後の取組にどう生かしていくのか、市・学校が一体となってその検証を行っていかうと思います。特に中学校では補充学習では成果がみられるものの、授業改善ではあと少しという結果が見えてきました。

幸い、調査結果ではよい兆しが見えてきています。今後ますます、授業が充実するよう取組をすすめてまいります。

(3) 学校生活を充実させること。

小学校では改善、中学校では逆の結果が出ていました。学校生活、学習面のみならず生活面も充実させる必要があります。

今後、特別活動や道徳を充実させていくことで、知・徳・体バランスのとれた子ども作りにより一層取り組みます。